



RESIDENCE MIRAMACHI 2024年7月撮影



CLOSE UP VOICE

積水ハウス 株式会社 豊橋支店
支店長 辰田 拓也 さん住民と共創する
世界一幸せなまちづくり

少子高齢化社会が本格的に到来し、コミュニティ維持や移動環境、安心安全など、暮らしに関する様々な課題が浮き彫りになっている。2018年に豊橋市の新たな顔として誕生した「ミラまち」は、大手住宅メーカーの積水ハウス株式会社が誇る先進的な技術とまちづくりのノウハウが集約された、一社単独による大規模土地開発として注目を集めている。「未来へつながるまち」で実践する新時代のまちづくりについて伺った。

卓越した設計プロ集団が作る住まいづくり

——貴社の事業内容を教えてください。

辰田▼当社は、戸建住宅事業をはじめ、賃貸・事業用建物事業、賃貸住宅管理業、リフォーム事業、都市開発事業といった、住まいと住環境づくりを展開する総合住宅メーカーです。「我が家を世界一幸せな場所にする」をグローバルビジョンに掲げ、お客様のニーズにお応えする高品質な住

建築物を生み出しています。

——大規模な開発プロジェクトである「ミラまち」について教えてください。

辰田▼「未来へつながるまち」をコンセプトに、JR豊橋駅から5キロ圏内に位置する豊橋市曙町で進めている、約27万㎡もの広大な土地開発です。豊橋市内でも過去に類を見ない、最大級の開発事業であり、戸建住宅のほか商業施設、医療施設が集約された複合開発が特徴です。また、大規模な土地開発の場合、複数の住宅メーカーが携わることが多いなか、ミラまちの開発は当社一社のみで実施しており、全国的にも珍しく、画期的な試みです。当社の先進的な技術やまちづくりのノウハウを存分に活かし、「世界で一番幸せなまち」にしたいと考えています。例えばIoTを活用し、電気・ガス・水道の共同自動検針を全国で初めて導入するといったスマートシティの先駆けを担う取り組みにも挑戦しています。

——ミラまちの特徴的なまちづくりについて教えてください。

辰田▼ミラまちは、「地域貢献」「環境配慮」「災害に強い」「持続成長」の4つの価値を創造し、現代社会が抱える少子高齢化や安心安全の確保

INTERVIEW



積水ハウス(株) 豊橋支店
豊橋市曙町松並101-206
0532-48-7500

働き方に関しては、女性社員の産休育休や時短勤務、在宅勤務の活用推進は当然のことながら、加えて男性の育休取得を推進しています。決して大掛かりな取り組みを行ったり、特別な費用をかけたわけではなく、トップダウンでの意識改革とシステム変更、スケジューリングの工夫などで、2019年以降、当社の取得率100%達成を継続しています。当初、取得する社員からは不安や心配の声が上がりましたが、「家族と大切な時間が過ごせた」との声が寄せられたほか、「住まいづくりと暮らしを提供する者として、お客様の気持ちを深く理解することができた」と、営業面でプラスに働く効果もありました。仕事だけではなく、様々な経験や知識をインプットすることで、視野が広がり、自身の価値を高められ、より高いパフォーマンスを発揮できると思います。

——豊橋支店としての将来のビジョンを教えてください。

辰田▼我々の支店は女性の営業職が多く在籍している点特徴であり、強みであると感じていますので、彼女たちが活躍できる心理的安全性の高い職場風土を形成したいと考えています。

ミラまちについては、より先進的なサービスを提供するとともに、世界一幸せなまちを目指し、住民だけではなく、街を訪れる方や周辺の地域の皆様も笑顔にできるようまちづくりに邁進していきたいです。

——安心安全の面では、どのような取り組みに注力しましたか？

辰田▼防犯対策に万全を期すため、防犯カメラを各所に設置したほか、ミラまち内に構えた支店社屋には大手警備業者の待機所があり、センサーが異常を感知した際、ガードマンが駆けつけるホームセキュリティ設備機器をご活用いただくことができます。夜間には各住宅の屋外照明が灯る仕様になっており、自邸を美しく演出することあわせ、安心して歩く

といった課題解決を目指しています。具体的には、住宅エリアの徒歩圏内に商業施設と医療施設を配置し、自動車での移動に頼らない閑静で安全な地域を目指しています。

また、子育て支援センターと学童施設を併設した「こども館」を設置し、豊橋市の運営による親子教室の開講や、共働き家族向けの保育サポートを実施しています。専任の保育士を配置し、子育ての相談のほか、同じ悩みを持つ同世代のコミュニティの場としての機能も充実しています。

特色豊かな6つの公園では、子供同士が自然と友達の輪を広げ、遊びまわっている風景が見受けられます。

——防犯面にも寄与しています。

また、「災害に強い」まちづくりとして、防災倉庫や防災井戸、一部の公園には炊き出し用のかまどに早変わりするベンチを設置しているほか、先程申し上げました無電柱化による被害拡大の抑制を図っています。近年大雨災害が各地で頻発しておりますが、調整池を兼ねる「つつじ公園」が昨年6月の記録的な大雨災害時に活躍し、雨水の貯留、計画的な排出に効果を発揮したため、ミラまち内での浸水被害はありませんでした。

しかし、こうしたハード面の取り組みに加え、ミラまちに住む皆様のコミュニティの形成が、活気のある安心安全なまちづくりに結び付いていると感じています。ミラまちが目指す街の姿に共感し、魅力や価値を感じていただいた住民の皆様がいるからこそ、我々も新たなまちづくりを試みることで、常に進化し続ける街・未来へつながる街を描くことができます。団地管理組合やコミュニティ「ひとえん」の設立によつて、街の中で催しが生まれ、それらを通じて人と人との縁が繋がっていき、そこから自然発生的に新たなコミュニティが生まれ、活気ある暮らしがこの街に実現しています。まさに、「人づくりこそがまちづくり」なのだと思付かれました。

先進的な技術・サービスを取り入れ 世界一幸せなまちを目指す。

分譲済みのまちなみ 2022年6月撮影



——今後のミラまちの構想をお聞かせください。

辰田▼400の住宅区画は、未公開のステージを含めると残り約半数となりましたので、引き続き住宅購入をご検討されている皆様に、この街の魅力を発信していきたいと思っています。

また、企画段階ですが、マルシメ株式会社(参考／NewVoice 8月号巻頭インタビュー)様が提供している電動モビリティを導入して、住民や住宅相談に訪れたお客様へ貸与し、活用いただくことを検討しています。さらに将来のテーマですが、自動運転の電動バスを巡回させたり、緊急時に

救援物資を届けるためのドローンの着陸スポットを整備したりと、最新の技術やサービスを取り入れたスマートシティ化を進めていきたいと考えています。

多様な人材の可能性を引き出し、企業の成長を図る

——人材育成や働き方などに関する取り組みを教えてください。

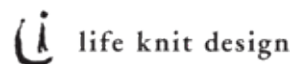
辰田▼ダイバーシティを尊重し、多様な個性が活躍できる場を広げることが、企業の持続的な成長につながると考えています。

EVENT NEWS

自分の好きなデザインを見つける日

6HOUSES

2024.11.8 (金) .9 (土) .10 (日)
10:00～17:00



コスモステージミラまちにモデルハウス 6 棟同時 OPEN
まとめて体験できるから「好き」が見つかる。



※掲載の画像は、完成予定イメージパースです。